

ARAI Motor Sport – Front Member Brace



2018/07/06

FMB001AMS001

VAB GRB GVB GRF GVF BP5 BL5

最初にお読みください

※警告

本製品は自動車の床下作業となりますので、持ち上げた自動車が不安定な状態で作業すると危険です。必ず自動車専用リフトを使用して安全に作業してください。やむをえずガレージジャッキを使用する場合は、必ずリジッドラックを使用して安全に作業してください。パンタグラフジャッキやダルマジャッキは絶対に使用しないでください。車両側の分解組み立てはメーカーの解説書に準拠し安全に配慮し、取り付けは作業員、使用者の責任において行ってください。取り付け前の欠品初期不良を除き、取り付け、使用過程に於いての不具合について弊社は責任を負いかねます。

※注意

フロントパイプなど排気系部品との相性で、本製品が最低地上高となる場合に、僅かに地上高値が変化する場合があります。車高を低くされている場合は、適法な状態となりますよう必要に応じた調整をお願いいたします。

群馬県 伊勢崎市 柴町 837-1 アライモータースポーツ株式会社 0270-20-3085



ARAI Motor Sport – Front Member Brace

1.部品図

左右ブレース 各 1 (図面左=進行方向右手)
M10 ボルト -1
4.8 t ワッシャ-1
3 t ワッシャ-1
2 t ワッシャ-2 (一枚は微調整用)



2.ステアリングラックのブラケットのボルトの取り外しと FMB 取付準備

メンバーのジャッキポイント後方 進行方向右手に補強ブラケットの固定ボルトがあります。

取り付けの際、右側はパワステラックのブラケットの上に元のボルトで直付けできます。

その際、左側は 3 t ワッシャを下に敷き上から 2 t ワッシャをブラケットの上に使用して固定します。



3.個体差の補正

キットには 4.8~2mmまで数種のワッシャが添付されています。社外厚肉ブラケットの使用時やブラケットの座り調整に適時組み合わせ、左右同じになるように、ご使用ください。



4.ロアアーム後ろボルトの取り外し

19mmのソケットとブレーカーバーなどを使用して、ロアアームピボットのボルトを緩めます。

VAB では、あらかじめタイヤなどの重量物を外した方がボルトを抜きやすい場合があります。

GRB 以前はスタッドボルトなので、その必要はありません。



5.仮組み

左図を参考に車体にブレースをセットし、仮組みしてください。ガタつきが無くなるくらいまで、軽く締めて確認してください。VAB は前側ボルトを先行で通します。

※GRB 以前は後ろから先にボルトを通します。
組み込みで前方ブラケットの長穴に余裕がないときはお手数ですが丸ヤスリで調整してください。



6.メンバー側ボルトの締結

M10 ボルトは左右共 4kgf で締めます。(経年で 4kgf が不可な個体は潤滑して 3 kgf+で)

国内仕様の場合

(左図は VAB 取付例です。GRGV 系では右側はワッシャが要らないことがあります)



7.ロアアーム後ろボルトの締結

ロアアーム後ろピボットのボルトは左右ともトルクレンチを使用して、15kgf でしっかりと締めてください。

全てのボルトは異音や緩みが出ていないか、注意深く観察し増し締め等の管理をしてください。



8.GR GV GH 系

GRB 以前の車種は後ろがスタッドボルトなので組みにくいことがあります。

締結トルクは前 M10=4kgf (経年で 4kgf が不可な個体は、潤滑して 3 kgf+で) 後ろ M14=15kgf です。

※ナットの錆びや固着が酷いと稀にスタッドボルトの根元側が緩むことがありますので注意してください。組み付けは Mos2 やカッパーペーストなどの併用がお奨めです。